

東北大震災における被災地・被災者支援

皆さんありがとう。元気になります。

児童センターと老人福祉センターを利用する児童と高齢者が、被災地へ手作りのうちわを贈りました(8月15日号広報紙『ふれあい』2ページ掲載)。そのうちわを受け取った大槌町(岩手県)の仮設住宅に住む女性の方からお礼の手紙をいただきました。手紙には、ショックな現実や生活の苦労などがあるが、心のこもった支援に感謝する気持ちや、うちわと一緒に届けた写真入りの寄せ書きを部屋に飾り、元気付けられると書いてありました。



バザーに並んだうちわと寄せ書き

支援活動で広がるつながり

うちわの配布は、多治見市災害ボランティア隊(5月末に岩手県に派遣)の派遣時に知り合った花巻市(岩手県)の方に頼みました。その方は災害発生後から、預かった物資を避難所や仮設住宅に届ける活動を続けています。うちわを大槌町の仮設住宅の方たちに届けた時の様子を、手紙や写真で伝えてもらいました。また、仮設住宅を回り、入居者を支援する十和田市社会福祉協議会(青森県)の方から「うちわを手にとって、うれしそうに帰る姿が非常に目に留まった」と、その時の様子を伝えるメールと写真をいただきました。



仮設住宅でのバザーの様子

うちわを作り、届けるという活動が、多くの方との『絆』を作り、広めています。これからも私たちにできることを考えて役立つ物を贈りたいと、支援活動に取り組んでいきます。

問い合わせ 多治見市社会福祉協議会 電話 (25) 1131 <担当>水野千鶴子

今月の教室紹介 ～参加してみませんか～

ふれあいクラブ(障害者福祉センター)

毎週木曜日の午前10時から午後3時30分まで、総合福祉センター(太平町)の2階で開催しています。体に障がいがある方が参加し、活動する内容をグループで自主的に決めていきます。今は、秋に開かれるふれあい作品展への出品に向けて、毛糸を使った作品の制作に、みんなで意見を出し合い、楽しみながら取り組んでいます。また、社会参加や買い物訓練の一環として、全員で近くのコンビニエンスストアに昼食を買いに行ったり、ショッピングセンターに出掛けたりします。そのほかに調理実習や交流会、カラオケなど、ボランティアの皆さんに協力を得ながら活動しています。

問い合わせ

障害者福祉センター 電話 (25) 1131 <担当>有賀

趣味や生きがい、仲間づくりなどを目指し、下記のセンターでさまざまな教室を開催しています。

- 老人福祉センター(太平町)
- 滝呂老人福祉センター(滝呂町)
- 南姫老人福祉センター(大針町)
- 障害者福祉センター(太平町)
- 母子福祉センター(太平町)



毛糸を使った作品作りの様子